

# 大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（平成25年度）

## 1. 調査の目的

本調査は、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」（※1参照）及び「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領（平成13年2月20日大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長決定）」（※2参照）に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の留意事項が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施している。

## 2. 調査の内容・方法

調査は、※2の要領に基づき、大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する大学等が完成年次に達するまでの間、毎年度、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会（別紙1）が実施している。

調査の内容は、①認可以降の留意事項の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）、について行っている。

調査の方法は、全ての調査対象学校法人（143法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人を中心に12法人について実地調査を実施した。いずれの場合も問題点や課題等があった場合は留意事項として学校法人に通知し、改善を促すものとする。

## 3. 平成25年度調査結果の概要

今回の調査の結果、全体としては、施設・設備の年次計画を着実に履行し、認可以降の留意事項に対して改善に向けた取組みを実施しているが、一部の学校法人で改善が十分ではないため同じ内容の留意事項を継続して付す事案や、事前の協議を行わずに計画を変更していた事案が見られた。

今回の調査結果として各学校法人に付す留意事項は別紙2のとおりであり、調査内容ごとの調査結果の概要は以下のとおりである。

### ① 認可以降の留意事項の履行状況

各学校法人においては、認可以降に付された管理運営や財務等に関する留意事項に対して、その改善に取り組んでいることを確認したが、事案によっては改善状況が十分ではないため、同じ内容について、継続して留意事項を付す事案が見られた。

② 施設・設備の年次計画の実施状況

概ね計画どおり履行されていたが、一部の学校法人で追加工事等により計画に変更が生じる場合において必要な手続きを行っていない事案が見られた。

③ 経営の実態

管理運営面において、一部の法人で理事会・評議員会の開催順序が寄附行為に基づいた運営がされておらず、また、監事が出席せずに理事会又は評議員会を開催するなどの改善が必要な事案が見られた。

財務面においては、定員未充足や収支が継続してマイナスである事を理由に留意事項を付す事案が多く見られた。

#### 4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書（以下、「履行状況報告書」という）を、学校法人として積極的に公開することは大変意義がある。

また、設置認可と認証評価との連続性の確保が重要な課題であることから、各学校法人におかれては、認証評価機関から履行状況報告書の提出を求められた際には積極的に提供いただくことを期待したい。

なお、設置認可と認証評価の有機的な連携が図られるよう、各認証評価機関に対し、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

#### 5. 平成26年度の実施方針

調査対象については、これまでと同様に、大学等の設置認可後、当該学部等が完成年に達するまでの期間に該当する学校法人を対象とすることとしたい。調査方法等については、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会における審議等を踏まえ、更なる内容の充実を図ることとしたい。

※1

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

(平成19年文部科学省告示第41号)(抄)

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

※2

○大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領

(平成13年2月20日学校法人分科会長決定)

1 趣旨

この調査は、寄附行為(変更)認可時の留意事項が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施する。

2 調査対象法人及び期間

- (1) 大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する学部・学科等が完成年次に達するまでの間に実施する。

ただし、昭和45年度以降に新設された医学部又は歯学部を設置する学校法人に対しては、当分の間新設後10年間実施する。

- (2) その他、特に調査を要すると認められる学校法人に対し、必要が生じた都度実施する。

3 調査方法

調査は、書類調査、実地調査等の方法により、毎年度1回実施する。ただし、特別の必要がある場合は必要に応じてその都度実施する。

4 調査内容

- (1) 留意事項等の履行状況

- (2) 施設・設備の年次計画の実施状況

- (3) 役員の就任状況

- (4) 事務組織の整備状況

- (5) 入学者の状況

- (6) 学校法人の資産及び収支の状況(借入金の状況、学生納付金及び寄附金の状況、給与の支給状況等を含む。)

- (7) その他

5 調査委員

調査は、各学校法人ごとに委員及び事務官各1名以上をもって行う。

6 調査結果の報告

ア 調査委員は、調査結果について分科会に報告するものとする。

イ 分科会長は、分科会の決定に基づいて当該学校法人に対して指導、助言すべき事項を高等教育局長に報告するものとする。

(備考)

履行状況の報告

文部科学省は、上記報告に基づき指導、助言すべき事項を速やかに当該学校法人に対して通知し、その改善措置等の履行状況の報告を求められたい。

## 大学設置・学校法人審議会（学校法人分科会）委員名簿

氏名	現職
浦野 光人	(株) ニチレイ相談役
荻野 美佐子	上智大学総合人間科学部教授
小原 芳明	(学) 玉川学園理事長・大学長
國枝 マリ	(学) 津田塾大学理事・大学長
坂根 康秀	(学) 山内学園理事長・香蘭女子短期大学学長
佐野 慶子	公認会計士
清水 敏	(学) 早稲田大学常任理事・副総長
高柳 元明	(学) 東北薬科大学理事長・大学長
○ 中村 量一	(学) 中村学園理事長
◎ 日高 義博	(学) 専修大学理事長
福原 紀彦	(学) 中央大学理事・大学長
福元 裕二	(学) 永原学園理事長・大学・短期大学部学長
藤岡 一郎	(学) 京都産業大学理事・大学長
古阪 幸代	三機工業(株)ファシリティシステム事業部ワークプレイス戦略部長

◎：分科会長 ○：分科会長職務代理

## 平成25年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査留意事項一覧

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
1	愛知学院	24	研究科増設	愛知学院大学大学院	薬学研究科(D)	○ 特になし
2	暁学園	23	大学院新設	四日市看護医療大学大学院	看護学研究科(M)	○ 監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
3	浅井学園	25	研究科の増設	北翔大学大学院	生涯スポーツ学研究科(M)	○ 監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北翔大学 人間福祉学部 地域福祉学科、医療福祉学科、福祉心理学科、生涯学習システム学部 芸術メディア学科、北翔大学短期大学部 ライフデザイン学科)
4	東教育研究団	24	大学院大学新設	事業構想大学院大学	事業構想研究科(P)	○ 理事と監事が他の企業において上下関係にあることから、監事の独立性を担保できるよう取組むこと。 ○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。 ○ 収益事業の会計を学校法人会計から区分していないことから、収益事業会計を学校法人会計から区分した特別な会計として経理すること。
5	安達学園	22	学部増設	中京学院大学	看護学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
6	幾徳学園	22	学部の学科増設	神奈川工科大学	応用バイオ科学部栄養生命科学科	○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
7	石田学園	23	学部の学科増設	広島経済大学	経済学部スポーツ経営学科	○ 特になし
8	茨城キリスト教学園	23	学部増設 研究科増設	茨城キリスト教大学 茨城キリスト教大学大学院	経営学部 看護学研究科(M) 生活科学研究科(M)	○ 理事会・評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・補正予算を評議員会に諮問すること。
9	岩手医科大学	19 25	学部増設 研究科増設	岩手医科大学 岩手医科大学大学院	薬学部(6年制) 薬学研究科(M) (D)	○ 学校法人内の職務の兼務により評議員が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに改善すること。
10	宇部学園	23	大学院新設	山口学芸大学大学院	教育学研究科(M)	○ 特になし
11	大阪医科大学	22	学部増設	大阪医科大学	看護学部	○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。
12	大阪滋慶学園	23	大学院大学新設	滋慶医療科学大学院大学	医療管理学研究科(M)	○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。
13	大阪成蹊学園	24	大学院新設	びわこ成蹊スポーツ大学大学院	スポーツ学研究科(M)	○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。 ○ 申請年度から完成年度の負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に努めること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪成蹊大学 マネジメント学部 マネジメント学科 芸術学部 環境デザイン学科 美術学科 大阪成蹊短期大学 創造文化学科)
14	大阪電気通信大学	21	学部増設	大阪電気通信大学	金融経済学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪電気通信大学 金融経済学部 アセット・マネジメント学科)
15	大手前学園	22	通信教育課程の開設	大手前大学	現代社会学部現代社会学科(通信教育課程)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大手前大学 通信教育部 現代社会学部 現代社会学科)
16	沖縄科学技術大学院大学	24	大学院大学新設	沖縄科学技術大学院大学	科学技術研究科(D)	○ 特になし
17	学習院	25	学部の学科増設	学習院大学	文学部教育学科	○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
18	霞ヶ浦学園	21	学部の学科増設	つくば国際大学	医療保健学部保健栄養学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校法人内の職務の兼務により理事・評議員が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに改善すること。</li> <li>○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。</li> <li>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (つくば国際大学 産業社会学部 社会福祉学科、医療保健学部 保健栄養学科)</li> </ul>
19	片柳学園	22	学部増設	東京工科大学	医療保健学部 デザイン学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。</li> <li>○ 学校法人の公共性に鑑み、財務情報の一般公開(ホームページへの掲載)について積極的に対応すること。</li> </ul>
20	活水学院	21	学部増設	活水女子大学	看護学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</li> <li>○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (活水女子大学 文学部 現代日本文化学科・人間関係学科、音楽学部 音楽学科、健康生活学部 生活デザイン学科)</li> </ul>
21	神奈川映像学園	23	大学新設	日本映画大学	映画学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> </ul>
22	金沢学院大学	23	学部増設	金沢学院大学	スポーツ健康学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院大学 美術文化学部 美術学科、金沢学院短期大学 ライフデザイン総合学科)</li> </ul>
23	関西外国語大学	23	学部増設	関西外国語大学	英語キャリア学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。</li> </ul>
24	関西看護医療大学	25	大学院新設	関西看護医療大学大学院	看護学研究科(M)	○ 特になし
25	関西金光学園	24	研究科増設	関西福祉大学大学院	看護学研究科(M)	○ 特になし
26	関西女子学園	22	学部増設	宝塚大学	看護学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 申請年度から完成年度の負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に努めること。</li> <li>○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。</li> <li>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宝塚大学 造形芸術学部 制作力創造学科 想像力創造学科)</li> </ul>
27	関西大学	22	学部増設	関西大学	社会安全学部 人間健康学部	○ 特になし
28	関西学院	21	学部増設	関西学院大学	教育学部	○ 特になし
29	関東学院	25	学部増設	関東学院大学	看護学部	○ 特になし
30	君が淵学園	24	研究科増設	崇城大学大学院	薬学研究科(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科 芸術学部デザイン学科)</li> </ul>
31	共栄学園	23	学部増設	共栄大学	教育学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> </ul>
32	共済学園	22	大学新設	日本保健医療大学	保健医療学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校法人の公共性に鑑み、財務情報の一般公開(ホームページへの掲載)について積極的に対応すること。</li> <li>○ 内部監査に関して、規程に基づく運用がなされていないことから、規程に基づく運用を速やかに実行するなど監査機能の充実に努めること。</li> <li>○ 理事会等における意思表示による出席について、意思表示を示すために必要な会議資料を提供していないなど手続きが適切に行われていないことから、速やかに改善すること。</li> </ul>

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
33	京都学園	22	研究科増設	京都学園大学大学院	バイオ環境研究科(M)(D)	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都学園大学 経済学部 経済学科 法学部 法学科 人間文化学部 メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科)
34	京都女子学園	23	学部増設	京都女子大学	法学部	○ 特になし
35	京都橘学園	24	学部増設	京都橘大学	健康科学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都橘大学 健康科学部 心理学科 通信教育課程)
36	共立女子学園	25	学部増設	共立女子大学	看護学部	○ 特になし
37	小池学園	23	短期大学新設	埼玉東萌短期大学	幼児保育学科	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
38	光華女子学園	23	学部の学科増設	京都光華女子大学	健康科学部看護学科	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
39	甲南女子学園	24	研究科増設	甲南女子大学大学院	看護学研究科(M)	○ 特になし
40	國學院大學	21	学部増設	國學院大學	人間開発学部	○ 資産変更登記が決算の理事会承認日より前に行われていたことから、今後は適正な方法で行うこと。
41	国際医療福祉大学	24	研究科増設	国際医療福祉大学大学院	薬学研究科(D)	○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。 ○ 学生等の募集を停止中の医療福祉学部医療福祉学科については、再開するか否かなどについての検討を行い、速やかに適切な措置を講ずること。
42	国際学園	25	大学院新設	星槎大学大学院	教育学研究科(通信教育課程)(M)	○ 特になし
43	五島育英会	21	学部増設	東京都市大学	都市生活学部 人間科学部	○ 特になし
44	駒澤学園	21	学部増設	駒澤女子大学	人間健康学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (駒沢女子大学 人文学部 空間造形学科、映像コミュニケーション学科)
45	相模女子大学	25	学部の学科増設	相模女子大学	学芸学部生活デザイン学科	○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。
46	佐久学園	24	大学院新設	佐久大学大学院	看護学研究科	○ 特になし
47	札幌大谷学園	24 24	学部増設 学部の学科増設	札幌大谷大学 札幌大谷大学	社会学部 音楽学部美術学科	○ 流動比率や消費収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌大谷大学 社会学部 地域社会学科)
48	札幌国際大学	21	学部の学科増設	札幌国際大学	スポーツ人間学部スポーツ指導学科	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌国際大学人文学部 現代文化学科、観光学部 観光ビジネス学科、国際観光学科、札幌国際大学短期大学部 総合生活キャリア学科)
49	山陽学園	21 25	学部増設 大学院新設	山陽学園大学 山陽学園大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (山陽学園大学 総合人間学部 生活心理学科)
50	滋賀学園	21	大学新設	びわこ学院大学	教育福祉学部	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。
51	四国大学	21 25	学部増設 研究科増設	四国大学 四国大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (四国大学 文学部 書道文化学科 経営情報学部 メディア情報学科 生活科学部 生活科学科 四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科、音楽科)
52	就実学園	24	研究科増設	就実大学大学院	医療薬学研究科(D)	○ 特になし

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
53	純真学園	23	大学新設	純真学園大学	保健医療学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
54	順正学園	24 24 25	通信制学部の新設 研究科増設 学部増設	吉備国際大学 九州保健福祉大学大学院 吉備国際大学	心理学部子ども発達教育学科(通信教育課程) 医療薬学研究科(D) 地域創成農学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科、ビジネスコミュニケーション学科 保健医療福祉学部 社会福祉学科 心理学部 心理学科 文化財学部 文化財修復国際協力学科 アニメーション文化学科 通信教育部心理学部 子ども発達教育学科 九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科 子ども保育福祉学科 保健科学部 視機能療法学科 通信教育部社会福祉学部 臨床福祉学科 吉備国際大学短期大学部 保健科)
55	松蔭学園	21	学部増設	松蔭大学	観光文化学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (松蔭大学 経営文化学部 ビジネスマネジメント学科 経営法学科、金融経済学科 コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科 生活心理学科 日本コミュニケーション学科 観光メディア文化学部 観光文化学科、メディア情報文化学科)
56	尚綱学院	22	学部の学科増設	尚綱学院大学	総合人間科学部子ども学科	○ 特になし
57	昌賢学園	22	学部増設	群馬医療福祉大学	看護学部	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。 ○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。
58	城西大学	24 24	学部増設 研究科増設	城西国際大学 城西国際大学大学院	看護学部 薬学研究科(D)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科、国際交流学科、福祉総合学部 福祉総合学科、観光学部 ウェルネスツーリズム学科、環境社会学部 環境社会学科)
59	常翔学園	22 24 24	学部の学科増設 学部増設 研究科増設	摂南大学 摂南大学 広島国際大学大学院	工学部生命科学科 看護学部 薬学研究科(D)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科)
60	上智学院	23	学部の学科増設	上智大学	総合人間科学部看護学科	○ 特になし
61	常陽学園	24	大学新設	東京医療学院大学	保健医療学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。
62	須賀学園	23	学部増設	宇都宮共和大学	子ども生活学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宇都宮共和大学 シティライフ学部 シティライフ学科、子ども生活学部 子ども生活学科、宇都宮短期大学 音楽科、人間福祉学科)
63	杉野学園	24	大学院新設	杉野服飾大学大学院	造形研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (杉野服飾大学短期大学部 服飾学科)
64	椙山女学園	22	学部増設	椙山女学園大学	看護学部	○ 特になし
65	鈴鹿医療科学大学	20	学部増設	鈴鹿医療科学大学	薬学部(6年制)	○ 参集を前提としない理事会及び評議員会を複数回に渡り開催し、著しく不適切な運営を行っていたことから、理事会及び評議員会の会議運営について適切に行うとともに、適切な学校法人運営を行うこと。 ○ 理事会及び評議員会の実出席率が低いことから、改善に取り組むこと。
66	青淵学園	21	大学新設	東都医療大学	ヒューマンケア学部	○ 監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。



	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
67	清光学園	25	大学新設	岡崎女子大学	子ども教育学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (岡崎女子大学 子ども教育学部、岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科)
68	聖泉学園	23	学部増設	聖泉大学	看護学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 流動比率や消費収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。
69	専修大学	25	学部増設	石巻専修大学	人間学部	○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (石巻専修大学 理工学部 食環境学科、人間学部 人間文化学科)
70	創価大学	25	学部増設	創価大学	看護学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (創価大学通信教育部 経済学部、法学部)
71	タイケン学園	24	大学新設	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本ウェルネススポーツ大学 スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科)
72	大乘淑徳学園	21 24	通信教育課程の開設 学部の学科増設	淑徳大学 淑徳大学	国際コミュニケーション学部人間環境学科(通信教育課程) 看護学部栄養学科	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (淑徳大学 経営学部 観光経営学科)
73	高崎健康福祉大学	24 24 24	学部増設 研究科増設 研究科増設	高崎健康福祉大学 高崎健康福祉大学大学院 高崎健康福祉大学大学院	人間発達学部 保健医療学研究科(M) 薬学研究科(D)	○ 特になし
74	玉田学園	24	学部増設	神戸常磐大学	教育学部	○ 監事の出席していない理事会・評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
75	玉手山学園	23	学部増設	関西福祉科学大学	保健医療学部	○ 学校法人内の職務の兼務により理事が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに改善すること。
76	中国学園	23	研究科増設	中国学園大学大学院	子ども学研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 中国短期大学 英語コミュニケーション学科 情報ビジネス学科)
77	中部大学	23 24	研究科増設 研究科増設	中部大学大学院 中部大学大学院	生命健康科学研究科(M) 教育学研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中部大学 国際関係学部 中国語中国関係学科)
78	都築育英学園	24	大学院新設	日本経済大学大学院	経営学研究科(M)	○ 申請年度から完成年度の負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に努めること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本経済大学 経済学部 健康スポーツ経営学科 福岡こども短期大学 こども教育学科) ○ 関連法人との間で実施している不適切な資金の貸し借りや担保提供等を速やかに解消すること。
79	津曲学園	22	学部の学科増設	鹿児島国際大学	国際文化学部音楽学科	○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。
80	鶴岡学園	22	学部の学科増設	北海道文教大学	人間科学部こども発達学科	○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。
81	帝京大学	23	研究科増設	帝京大学大学院	公衆衛生学研究科(P)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京大学短期大学 人間文化学科 現代ビジネス学科、帝京大学 理工学部 情報科学科 通信教育課程)

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
82	帝京平成大学	23 24	研究科増設 研究科増設	帝京平成大学大学院 帝京平成大学大学院	臨床心理学研究科(P) 薬学研究科(D)	○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京平成大学 通信教育学部 経営マネージメント学科 通信教育課程)
83	帝塚山学園	21	学部の学科増設	帝塚山大学	現代生活学部子ども学科	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (手塚山大学 人文学部 英語コミュニケーション学科)
84	鉄蕉館	24	大学新設	亀田医療大学	看護学部	○ 特になし
85	天理よろづ相談所学園	24	大学新設	天理医療大学	医療学部	○ 監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 学校法人の公共性に鑑み、財務情報の一般公開(ホームページへの掲載)について積極的に対応すること。 ○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。
86	東京医科大学	25	学部の学科増設	東京医科大学	医学部看護学科	○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。 ○ 学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。
87	東京キリスト教学園	24	大学院新設	東京基督教大学大学院	神学研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京基督教大学 神学部 国際キリスト教福祉学科)
88	東京成徳学園	21	学部増設	東京成徳大学	経営学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京成徳大学 人文学部 国際言語文化学科 観光文化学科)
89	同志社	22 24	研究科増設 研究科増設	同志社大学大学院 同志社女子大学大学院	スポーツ健康科学研究科(M) 薬学研究科(D)	○ 特になし
90	トキワ松学園	22	大学新設	横浜美術大学	美術学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
91	常葉学園	21 25 25	学部増設 学部増設 研究科増設	浜松大学 常葉大学 常葉大学大学院	保健医療学部 法学部 健康科学部 経営学部 健康プロデュース学部 保健医療学部 保育学部 社会環境学部 健康科学研究科(M) 環境防災研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常葉大学短期大学部 日本語日本文学科、英語英文科)
92	獨協学園	19 24	学部増設 研究科増設	姫路獨協大学 獨協医科大学大学院	薬学部(6年制) 看護学研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路獨協大学 外国語学部 外国語学科、法学部 法律学科、経済情報学部 経済情報学科、医療保健学部 子ども保健学科、薬学部 医療薬学科)
93	富澤学園	22	大学新設	東北文教大学	人間科学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東北文教大学短期大学部 総合文化学科)
94	富山国際学園	21	学部増設	富山国際大学	子ども育成学部	○ 特になし
95	中西学園	23	研究科増設	名古屋学芸大学大学院	子どもケア研究科(M)	○ 特になし
96	永原学園	21	学部増設	西九州大学	子ども学部	○ 特になし
97	名古屋学院大学	25	学部増設	名古屋学院大学	法学部	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。
98	名古屋自由学院	23	研究科増設	名古屋芸術大学大学院	人間発達学研究科(M)	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (名古屋芸術大学 音楽学部 演奏学科 音楽文化創造学科 美術学部 美術学科)

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
99	日本赤十字学園	21 22 23	大学新設 大学院新設 大学院新設	日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田看護大学大学院 日本赤十字豊田看護大学大学院	看護学部 看護学研究科(M) 看護学研究科(M)	○ 特になし
100	二本松学院	24	大学新設	京都美術工芸大学	工芸学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都美術工芸大学 工芸学部 伝統工芸学科)
101	梅花学園	22 24	学部増設 学部増設	梅花女子大学 梅花女子大学	看護学部 食文化学部	○ 監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (梅花女子大学 文化表現学部 国際英語学科、日本文化創造学科、情報メディア学科)
102	花田学園	21 25	大学新設 大学院新設	東京有明医療大学 東京有明医療大学大学院	保健医療学部 看護学部 保健医療学研究科(M) 看護学研究科(M)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科)
103	濱名学院	25	学部増設	関西国際大学	保健医療学部	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (関西国際大学 人間科学部 経営学科)
104	東筑紫学園	23	学部増設	九州栄養福祉大学	リハビリテーション学部	○ 学校法人内の職務の兼務により評議員が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに改善すること。 ○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。
105	比治山学園	21	学部の学科増設	比治山大学	現代文化学部子ども発達教育学科	○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (比治山大学短期大学部 総合生活デザイン学科)
106	兵庫医科大学	19 23 25	大学新設 大学院新設 研究科増設	兵庫医科大学 兵庫医科大学大学院 兵庫医科大学大学院	薬学部(6年制) 医療科学研究科(M) 看護学研究科(M) 薬学研究科(D)	○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。
107	弘前城東学園	21	大学新設	弘前医療福祉大学	保健学部	○ 理事会・評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・24年度決算の理事会評議員会の開催順序が不適切 ○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
108	広島文化学園	22	学部増設	広島文化学園大学	学芸学部	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島文化学園大学 社会情報学部 グローバルビジネス学科 健康福祉学科)
109	福井仁愛学園	21	学部増設	仁愛大学	人間生活学部	○ 特になし
110	福田学園	21 25	大学新設 大学院新設	大阪保健医療大学 大阪保健医療大学大学院	保健医療学部 保健医療学研究科(M)	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
111	物療学園	23	大学新設	大阪物療大学	保健医療科学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 申請年度から完成年度の負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に努めること。

	学校法人名	開設 年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
112	佛教教育学園	22 23	短大の学科増設 大学新設	華頂短期大学 京都華頂大学	歴史文化学科 現代家政学部	○消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。 ○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (佛教大学 仏教学部 仏教学科(通信教育課程)、文学部 日本文学科(通信教育課程)、中国語学科(通信教育課程)、歴史学部 歴史学科(通信教育課程)、歴史文化学科(通信教育課程)、教育学部 教育学科(通信教育課程)、社会学部 現代社会学科(通信教育課程)、公共政策学科(通信教育課程)、社会福祉学部 社会福祉学科(通信教育課程)、華頂短期大学 歴史文化学科、人間健康福祉学科)
113	古沢学園	21	大学新設	広島都市学園大学	健康科学部	○学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。
114	文教大学学園	22	学部増設	文教大学	健康栄養学部	○特になし
115	文理佐藤学園	21	学部増設	西武文理大学	看護学部	○流動比率や消費収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
116	平成医療学園	23	大学新設	宝塚医療大学	保健医療学部	○理事長と監事が他の学校法人において上下関係にあることから、監事の独立性を担保できるよう取り組むこと。 ○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科)
117	別府大学	21	学部増設	別府大学	国際経営学部	○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (別府大学 文学部 国際言語・文化学科、食物栄養科学部 発酵食品学科、国際経営学部 国際経営学科、別府大学短期大学部 地域総合科学科)
118	法政大学	21	学部増設	法政大学	スポーツ健康学部	○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (法政大学 通信教育部 法学部 法律学科、文学部 日本文学科、史学科、地理学科、経済学部 経済学科、商業学科)
119	宝仙学園	21	大学新設	こども教育宝仙大学	こども教育学部	○監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
120	北杜学園	25	短大の学科設置	仙台青葉学院短期大学	こども学科	○特になし
121	北都健勝学園	22	学部増設	新潟リハビリテーション大学	医療学部	○近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
122	北海学園	23	大学院新設	北海商科大学大学院	商学研究科(M)	○特になし
123	堀井学園	24	大学新設	横浜創英大学	看護学部 こども教育学部	○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (横浜創英大学 こども教育学部 幼児教育学科)
124	松商学園	23	大学院新設	松本大学大学院	健康科学研究科(M)	○特になし
125	南九州学園	22	学部増設	南九州大学	人間発達学部	○近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。
126	武庫川学院	23	研究科増設	武庫川女子大学大学院	健康・スポーツ科学研究科(M)	○監事の出席していない理事会・評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
127	武蔵野大学	25	通信教育課程の開設	武蔵野大学	教育学部児童教育学科(通信教育課程)	○負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。 ○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (武蔵野大学 通信教育部 教育学部 児童教育学科)
128	明治学院	22	学部の学科増設	明治学院大学	心理学部教育発達学科	○学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、認可時の計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。
129	明治東洋医学院	23	通信教育課程の開設	明治国際医療大学大学院	鍼灸学研究科(通信教育課程)	○近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科 保健医療学部 柔道整復学科)

	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	留意事項
130	明浄学院	25	学部増設	大阪観光大学	国際交流学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 学生確保について、学部の特徴や卒業後の進路を明確にし、地域における広報を強化するなど、戦略性と具体策を持って教職員が一体となり各種方策の充実や実効性の向上を図り、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪観光大学 観光学部 観光学科、国際交流学部 国際交流学科)
131	名城大学	23	研究科増設	名城大学大学院	人間学研究科(M)	○ 特になし
132	明星学苑	19	学部増設	いわき明星大学	薬学部(6年制)	○ 理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (明星大学 造形芸術学部 造形芸術学科、通信教育部 教育学科、いわき明星大学 科学技術学部 科学技術学科、人文学部 表現文化学科、現代社会学科、薬学部 薬学科)
133	盛岡大学	22	学部増設	盛岡大学	栄養科学部	○ 特になし
134	森ノ宮医療学園	23	大学院新設	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科(M)	○ 消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。
135	八代学院	21	学部増設	神戸国際大学	リハビリテーション学部	○ 特になし
136	安田学園	19 25	学部増設 研究科増設	安田女子大学 安田女子大学大学院	薬学部(6年制) 健康生活学研究科(M) 薬学研究科(D)	○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (安田女子大学 薬学部 薬学科)
137	ヤマザキ学園	22	大学新設	ヤマザキ学園大学	動物看護学部	○ 特になし
138	山梨学院	22	学部増設	山梨学院大学	健康栄養学部	○ 特になし
139	行岡保健衛生学園	24	大学新設	大阪行岡医療大学	医療学部	○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○ 理事会・評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・補正予算を評議員会に諮問すること。 ○ 監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
140	吉田学園	25	大学新設	札幌保健医療大学	看護学部	○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○ 未整備の規程を整備すること。 (固定資産管理規程、物品管理規程)
141	立命館	20 22 22 23	学部増設 学部増設 研究科増設 研究科増設	立命館大学 立命館大学 立命館大学大学院 立命館大学大学院	薬学部(6年制) スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学研究科(M) 映像研究科(M)	○ 特になし
142	龍谷大学	23	短大の学科増設	龍谷大学短期大学部	こども教育学科	○ 特になし
143	早稲田医療学園	23	学部増設	人間総合科学大学	保健医療学部	○ 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 流動比率や消費収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (人間総合科学大学 人間科学部 人間科学科(通信教育課程))